OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	大阪大学低温センターだより No.2 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 1973, 2
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/21895
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

編集後記

桜の散り始める頃，第２号の編集が終りました。皆様のお手元に届く頃はつつじの季節でしょうか。今回は大分盛沢山です。これからも息切れしないように続けなければと編集委員一同張切っております。

物価高，公害，買占めがさわがれる毎日ですが，ものの本によれば２１世紀まで今の勢で人間が増え続ければ大変な事になるそうです。何しろ60㎏もある動物が何十億もこの地球上に住みついている事が生物学的には異常であるという訳です。まず食物が無くなる，そうすれば石油タンパクも食べざるを得なくなるでしょう。ところがその石油がここ2．30年で無くなるというから事は大変です。石油が無くなった後のエネルギー問題は特に深刻でしょう。そうなれば液体水素が燃料になるだろうという事は然る物性の先生の言を待つまでもなく想像される事ですが，さてその水素はどうやって作る……水の電気分解……ではその電力は……等と考えて行くと甚だ心細くなります。とまれ，電力輸送の効率を現在より飛躍的に高める事が重要なポイントとなる訳で，今後超電導送電や低温送電等に関するCryogenicsは益々脚光をあびることでしょう。

どうぞ夢のある話をどんどん御投稿下さい。お待ちしています。（森崎 記）

大阪大学低温センターだより　第２号
昭和４８年４月 発行

編集責任者　長谷田泰一郎
発行者　大阪大学低温センター
吹田分室　大阪府吹田市字山田上
電話(06) 877−5111(5月20日より) 内線 4105

豊中分室　大阪府豊中市待兼山町
電話(06) 856−1151(5月20日より) 内線 2563

印刷所　とうけん社
大阪市福島区海老江下２−11
電話(06) 451−1061
代表　村上喜与志

低温センター利用案内

吹田分室

業務内容	利用日	申込方法
液体ヘリウム（5ℓ未満）	毎週 火，木，金	前日の16時までに指定の申込用紙に記入して，液化室へ持参
液体ヘリウム（5ℓ以上）	毎週 火，金	希望日の2週間前から1週間前の間に担当者（牧山）へ申込み
液体水素	奇数月の第4火曜日を含む週	奇数月の第2土曜日までに担当者（脇坂）へ申込み
液体窒素	平日 10～16時 土曜 10～12時	申込みの必要なし，所定の用紙に必要事項を記入
部品の供給	毎週 月，木の午前中	指定の申込用紙に必要事項を記入して持参
器具の貸出	特に定めず	センター技官と相談

豊中分室

業務内容	利用者	申込方法
液体ヘリウム（5ℓ未満）	毎週 月，水，金	前日の16時（月曜の分は土曜の12時）までに液化室の黒板に記入
液体ヘリウム（5ℓ以上）	特に定めず	約1ケ月前に液化室へ申込み，技官と相談
液体水素	偶数月の第1週	10日前までに液化室へ申込み
液体窒素	平日 9～17時 土曜 9～12時 （5ℓ未満は時間外供給可）	申込みの必要なし，所定の用紙に必要事項を記入
器具の貸出	特に定めず	センター技官と相談